

神戸だより

台湾交流支援の会 2019.2発行 Vol.16

春節おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りします。

＜神戸の今 成人式＞ 桑田 邦憲

1月14日は成人の日です。今年も全国各地で「成人お祝いの会」、成人式が行われました。

この成人式の対象者は昨年4月2日から今年の4月1日の間に満20歳になる人で、全国で約125万人、神戸市では15,706人がその対象者です。新成人たちは各市町村で開催される成人式に出席します。神戸市でも市内のサッカー場で開かれた成人式に約9,800人が晴れ着姿で出席しました。開始時刻の午後1時になってもまだ多くの方が会場に入りきれず、広場は色とりどりの晴れ着でうまっています。式では最初に阪神大震災の記録映像がスクリーンに上映された後、市長の挨拶、



新成人の誓いの言葉に続き、地元出身のグループの演奏などがあり、約1時間半で式典は終了しました。新成人たちは久しぶりに会った友人達と楽しい時間を過ごした様です。



舞子姿！

男子は紋付袴も



＜私達の活動 映画上映会実施 “KANO ”＞ 福本 節子

1月16日(水)私たち台湾支援交流会主催のKANOの映画上映会を、神戸市シルバーカレッジ・ジョイラックデーで実施しました。

この映画は、日本統治下にあった台湾で、一勝もしたことのなかった弱小チームが、民族のわくを越えて日本人の監督のもと泥まみれで練習し、甲子園に初出場し準優勝を果たした選手たちの物語です。

3時間の長時間にわたる映画ですが、参加者のほとんどの方が、最後まで見てくださいました。私がこの映画を見るのは、今回で三度目です。一度目は映画館で、二度目は私たち台湾をテーマにしたグループ学習主催の映画上映会で、そして今回。何度見ても涙なしには、見る事ができませんでした。台湾と日本との交流の原点が、この映画にあると思います。



< お宮参り > 藤井 高

先日、孫(次男の子で名前は「湊(みなと)」—我々夫婦にとっては3人目の孫)の、お宮参りに*①西宮神社に行ってきました。

お宮参りは、初宮参り、初宮詣(もう)でとも呼ばれ、その土地の守り神である神社へ子供の健やかな成長を祈って、生まれて1か月目に参拝する儀式のことです。朝9時に、西宮神社(*②えべっさん)で有名)の隣にある写真スタジオに集まり記念撮影を写しました。集まったのは、祝いを受ける湊君の父方の両親(我々夫婦)と母方の両親と湊君の家族(次男夫婦と娘3歳の「咲(さく)良(ら)」)の8人でした。

母方のお父さん(湊君にとっては祖父)は、遥か遠方の鹿児島から駆けつけてくれました。(これがお宮参りにおいて、親族が集まる標準的な宮参りの体制です。)

写真スタジオでは、スタッフが、まだ、生まれて1か月の赤ちゃんを“ぬいぐるみ”で笑わせて写真を撮り、また、次男の家族写真、8人全員の家族写真を撮ってもらいましたが、常に皆を和やかにして写真を撮ってくれ、さすがにベテランのスタッフだと感心しました。多くの家族がお宮参りの写真を撮りに来られていました。

西宮神社では、同じように初宮参りに来られていた、4組の家族と一緒に、ご祈祷(きとう)と巫女(みこ)の神楽(かぐら)の舞(まい)をしていただき、お祓(はらい)を受けて無事完了となりました。

私たちは、湊君の健康を祝って、木曾路という名の食事処(どころ)で両家が祝いの宴(えん)を開きました。



我々夫婦にとっては、初めての男の孫で“藤井”の名前を継いでくれる孫が出来たことをうれしく思っています。(日本では結婚後、基本的には男の名前を継ぎます。ただし、現在では女性はどちらの姓を使うこともできます。)



*① 西宮神社—日本に約3500か所ある「えびす神社」の総本山で、
1月10日 に行われる午前0時の開門と同時の徒競走は有名
(毎年、必ず、TV放送や新聞のニュースに載る。)

*② えべっさん—七福神の一人である「えびす様」に、商売繁盛・家内安全・交通安全などを願って参拝する。
祭りは1月9日10日11日が一般的。